



150th  
The Best Hospitality

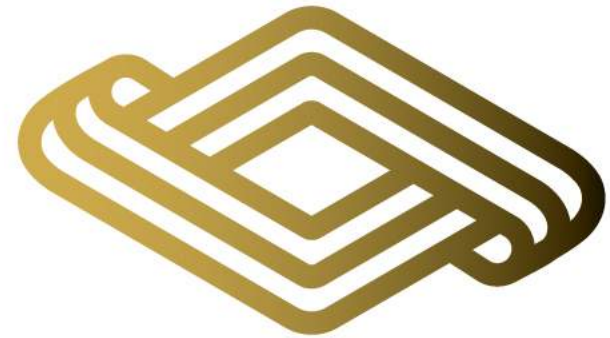
城西館 150周年記念

創業明治7年  
城西館



## 150年のご縁を未来へ紡ぐ

時代が変わっても変わることのないおもてなしの心。  
素晴らしい出会いとご縁に感謝し「おかげさまで」の心を忘れずに。  
「紡ぎ」、そして「結び」、「織り成していく」その思いを  
三階菱(家紋)の進化したカタチとして表現しました。



150th  
The Best Hospitality

創業明治7年

城西館

私たちは人々の心に思い出を作っている。

# 紡

TSUMUGU

ご縁に感謝し、おかげさまでの心で  
紡いでいきます。

人生の節目、節目に寄り添える使命感を抱き、  
一瞬も、ひとときも、ずっと、この先も  
「おかげさまで」と「ありがとう」で満たされる  
信頼と絆を育んでまいります。  
紡ぐ、スタッフとともにつくる感動と思い出の数々。  
紡ぐ、お客様とともにわかちあえる喜び。  
紡ぐ、取引先様とともに繁栄していくこと。  
そのひとつひとつのご縁に感謝し、さらに深く、  
新たな気持ちで歩んでいきます。  
さあ、今、ここから。私たちの挑戦は始まります。

おかげ様で城西館も創業明治七年より本年で150年の節目の年を迎える事が出来ました。これも皆様方のご支援・御引き立ての賜物と心から厚く御礼申し上げます。

先人達が築いてきていただいた伝統と歴史を引き継いで継承し、次代に伝えていきたいと決意を新たにいたしております。社訓にある「ご縁を大切に」「褒められて反省、叱られて感謝、すべて何事にも謙虚」を軸に、お客様・地域の方々・取引先の皆様に必要とされる企業として不易流行に徹し、前進してまいりたいと存じます。どうぞこれからも御指導御鞭撻たまわりますようお願い申し上げます。

代表取締役 会長 藤本 正孝

代表取締役 社長 藤本 幸太郎





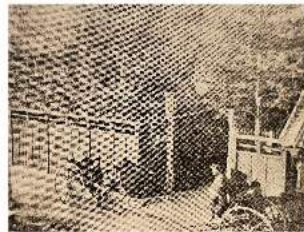
150th  
The Best  
Hospitality

## 150年の歩み

- 明治7年 ● 1874年 創業
- 昭和25年 ● 1950年 合資会社組織とし国際観光旅館連盟発足と同時に会員になる
- 昭和33年 ● 1957年 政府登録国際観光旅館となる
- 昭和43年 ● 1968年 増改築(鉄筋コンクリート8階建)
- 昭和49年 ● 1974年 創業100周年
- 昭和53年 ● 1978年 昭和天皇ご宿泊を賜る(植樹祭でご来高)
- 昭和59年 ● 1984年 増改築
- 平成5年 ● 1993年 天皇皇后両陛下(現、上皇上皇后両陛下)ご宿泊賜る
- 平成6年 ● 1994年 増改築「新館千寿」オープン
- 平成14年 ● 2002年 天皇皇后両陛下(現、上皇上皇后両陛下)ご宿泊賜る
- 平成16年 ● 2004年 展望露天風呂増設
- 平成17年 ● 2005年 ウエディングチャペル増設
- 平成24年 ● 2012年 チャペル・バンケットダイニング太陽リニューアル
- 平成29年 ● 2017年 皇太子皇太子妃殿下(現、天皇皇后両陛下)ご宿泊賜る
- 平成30年 ● 2018年 天皇皇后両陛下(現、上皇上皇后両陛下)ご宿泊賜る  
藤本正孝社長(現、会長)「黄綬褒章」受章
- 令和元年 ● 2019年 「天誠」客室リニューアルオープン
- 令和6年 ● 2024年 創業150周年、藤本正孝会長就任、藤本幸太郎社長就任



創業当時(明治7年頃)



創業の頃



昭和25年頃



昭和天皇ご宿泊を賜る(昭和53年)



歩みは一部を  
紹介しております。  
詳しくはこちらの  
QRコードで  
ご覧いただけます。

### ●ご宿泊を賜った皇室

天皇皇后両陛下、上皇上皇后両陛下、秋篠宮両殿下、常陸宮両殿下、三笠宮崇仁殿下、高円宮両殿下/昭和天皇陛下、秩父宮妃殿下、清宮貴子内親王殿下

### ●大使・総理大臣

駐日米国大使(ライシャワー氏)、駐日英国大使(サー・アーサー・ヘンリー・ヒュー・コータツツイ氏)、吉田茂元首相、池田勇人元首相、佐藤栄作元首相、三木武夫元首相、田中角栄元首相、福田赳夫元首相のご宿泊、晩餐会の会場として利用される。

# 誠

MAKOTO

城西館8代目社長  
藤本楠子[1908-1982]



旅館は家庭の延長のような、  
心休まる場所。  
時代が変わっても  
変わることもないおもてなしの心。

昭和8年(1933年)当時から城西館と並び称されていた屈指の旅館 延命軒に女中として就職。1937年(昭和12年)城西館、延命軒と並び一流と言われていた土佐ホテルへ女中頭として勤める。1939年(昭和14年)、当時城西館の支配人であった松本様のお声がけにより、憧れの城西館で女中頭となる。

昭和17年(1942年)戦争により城西館が軍人会館となったタイミングで、支配人に就任。昭和20年(1945年)、城西館経営者となる。

以降、数々の団体役職を兼任、高知県の観光振興に尽力しました。中でも吉田茂元首相に当館を定宿としていただき格別のご愛顧を賜ったことは生涯の大きな喜びと語るほど、想い出話が多く残されています。



玄関にある看板の文字は吉田茂元首相に書いていただいたもの



吉田茂元首相との縁のはじまり



1階のギャラリーには吉田茂元首相が当時愛飲した  
オールドバーのボトルや着物が飾られています。

戦後間もない昭和21年(1946年)4月の総選挙の結果、自由党が第一党になり、第一次吉田内閣が成立しました。同年12月、吉田茂元首相は、久々に故郷高知へ帰り、城西館にご宿泊賜りました。これが城西館と吉田茂元首相との縁の始まりです。



150th  
The Best  
Hospitality

150年の歩み

出会いは偶然の積み重ね、  
今日、この時を大切に。



私たちは明治七年の創業以来、皇室のご常宿として、また多くの各界名士の方々をお迎えしてまいりました。

地元高知では、ご披露宴をはじめとする様々な宴をお手伝いさせていただき、ご縁を重ねてまいりました。出会いの形は違えど、常にお客様には感謝の気持ちを込めて、誠心誠意おもてなしをいたします。さりげなく、そしてあたたかく。先人たちの熱い想いは、今も城西館に息づいています。



昭和32年の  
城西館スタッフ

# 縁

ENISHI



佐藤栄作元首相(昭和40年頃)



大相撲大鵬関と(昭和40年頃)



田中角栄元首相(年代不明)



藤本楠子社長と藤本佐和子女将  
(昭和54年)



徳仁皇太子殿下(現、天皇陛下)と  
(平成4年)



現、上皇上皇后両陛下(平成30年)



*memorial*

焼け残った1枚の写真

昭和20年(1945年)7月の高知大空襲で城西館も大きな被害を受けました。その時、焼け残った部屋の中から出てきた1枚の写真。藤本楠子社長が土佐ホテルで勤めていた頃、当時の城西館の支配人であった松本様ご夫妻との記念写真です。のちに松本様のお声がけにより、藤本楠子社長は、夢にまでみた城西館に勤めることとなりました。



150th  
The Best  
Hospitality

# 150年の歩み

すべてはお客様へのおもてなし、  
時代とともに。



梨本宮殿下御宿泊記念瑞書(昭和10年頃)



梨本宮殿下御宿泊記念瑞書(昭和10年頃)



増改築により8階建となる(昭和43年頃)



昭和初期の頃



昭和25年頃の玄関



鳳凰の間(昭和25年頃)



玄関(昭和38年)  
看板は吉田茂元首相の書によるもの



当館に資料としてある  
一番古いパンフレット  
(昭和30年代頃と思われる)  
城西館、Zyōseikanと  
表記されている



ロビー(昭和43年)



千寿の間(平成6年)



和室を基本とした客室の  
基本は今も変わらない  
(昭和43年)



当時はグリルと呼ばれていた  
懐かしい時代(昭和43年)



別館が完成する(昭和38年)  
旧水道町(現在の城西館の裏側)から  
撮影されたものと思われる



平成24年(2012年)にリニューアルした太陽の間



令和元年(2019年)にリニューアルした  
天誠の客室 ※写真はバリアフリー特別室

# 紡

TSUMUGU

徳 西 館

私たちはお一人おひとりの  
ご縁を大切に未来へ紡いでいきます。  
本日はありがとうございます。

